

1 指定管理施設の概要

施設名	青葉山ろく公園(グリーンスポーツセンター、パターゴルフ場、多目的広場等)		
指定管理者	一般財団法人舞鶴市スポーツ協会		
設置目的	自然とのふれあいや憩いの場、レクリエーションの場を提供し、野外活動・体験活動を通じて青少年の健全育成に寄与し市民の余暇活動の充実を図る場とするため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	市民文化環境部人権啓発・地域づくり室地域づくり支援課、文化スポーツ室スポーツ振興課、建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	令和元年度	令和2年度	年度	年度	年度
利用者数(人)	11,620	7,375			
利用料金(円)	4,724,500	2,752,250			
指定管理料(円)	22,200,000	22,700,000			

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
グリーンスポーツセンター	7,400人	7,400人	5,164人	70%
パターゴルフ場	5,500人	5,500人	2,211人	40%
(自主事業)グリーンスポーツセンター	2回以上	3回	3回	100%
(自主事業)パターゴルフ場	7回以上	8回	2回	25%

4 収支状況

収入		支出	
利用料金	2,752,250	人件費	15,494,047
指定管理料	22,700,000	維持管理費	7,143,634
事業収入	276,100	事業費	192,248
その他	498,671	その他	6,000
合計	26,227,021	合計	22,835,929
差額			3,391,092

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	コロナ禍での影響で、前年度と比較して利用者が減少したのは残念だった。指定管理2年目で、更に要領を理解し利用者が公園を楽しめるよう、利用者目線のイベント等を企画し実施するなど積極的に運営がされている。 パターゴルフ場では、ポイント制や回り放題プランで多くのリピーター獲得策、幅広い世代の意欲を掻き立てる様々な競技大会の開催、公園散策と健康維持を目的にした山道ウォーキング、朝ヨガなど新たな利用者獲得に向けた取組が実施されている。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	青少年の健全育成に寄与し、市民の余暇活動の充実に資するため、幅広い年代層を取り込めるようなイベント等を行うなど、適切な運営を行った。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	野外活動を通じ、青少年の健全育成に寄与し、市民の余暇活動の充実に資するため、幅広い年代層が参加できるイベント等を通じ適切な運営を行った。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	コロナ禍により自主事業の多くは、変更、中止を伴うものもあったが、臨機応変に事業内容を変更するなど、可能な範囲で実施されている。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	△	子どもから高齢者まで幅広い年代層を取り込めるようなイベント等の企画、パターゴルフ場の冬季開設など集客につなげる取組が実施されている。コロナ禍において、充分実施できなかったものもあるが次年度に期待する。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	常に利用者目線に配慮したサービス向上策を実施、利用者からの要望は積極的に実施し満足度向上につなげた。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	アンケート箱を設置するなど、積極的に利用者の声を聞き取るよう工夫が見られた。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	アンケート箱の設置や利用者の苦情等聞き取りにより、パターゴルフ場の冬季開設、グリスポ利用者のスムーズな入退場、スズメ蜂駆除等、利用者の希望、要望等は速やかに聞き入れ、対応している。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	マルチスタッフの更なる育成充実による柔軟な人員配置、職員のコスト意識を向上させ、節電・節水に努め、スタッフによる修繕等、常に施設内の経費削減を実施している。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	職員で可能な修繕は積極的に実施、地元住民と共同した環境美化等を積極的に実施した。
収入増加のための取組が行われたか	○	子どもから高齢者まで幅広い年代層を取り込めるようなイベント等の企画、パターゴルフ場の冬季開設など集客につなげる取組が実施されている。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	マルチスタッフの配置など適切な運営体制が図られている。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	接待研修、マルチスタッフ育成、作業器具の取り扱い、安全研修など能力向上に取り組んでいる。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	△	現金取り扱い時において、担当者と管理者間で確認を証する受領簿に一部受領印忘れが見受けられたため、受領簿整備の徹底を指導。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	パトロールにより巡回点検、遊具の定期点検、早めの修繕を随時実施し、危険個所の排除をするとともに、遊具の点検マニュアルを作成するなど対策が取られている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われていた。
(5) その他コメント		
サービス向上		コロナ禍での影響により利用者が減少するなど、厳しい運営が続いたが、感染対策をとりながら利用者の安全を図り、安心して利用できる環境を提供できていた。今年度は、指定管理2年目の年であり、徐々に民間のノウハウを生かしながら、幅広い年代層が楽しく参加しやすいイベント等の実施、ポイント制によるリピーターの獲得、公園全体を使った、ウォーキング、ヨガ教室、さらに利用者ニーズに応えたパターゴルフ場の冬季開設など新たな利用者獲得に向けた取組も実施されてきた。来年度に向けた企画案もすでに考案されており次年度に期待するところである。
経費削減		職員及び利用者の経費節減意識を向上させ、常日頃から節電・節水に努め、修繕などは、職員で可能なことは職員で実施し、また、環境美化は地元住民と協働実施するなど主体的な経費削減対策を実施している。また、マルチスタッフの更なる育成充実させ、効率的な人員配置と職員の能力向上にもつなげている。
施設の維持・管理		パトロールによる安全確認、定期的な遊具点検と点検マニュアルの作成、早目の修繕対策など、利用者への安全を図りながら、利用促進につなげている。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.5点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>コロナ禍でも様々な工夫、企画で利用者確保に努められた。 施設の管理もよくされ、周囲からも評価が高い。 自主事業を多く実施しており、期待できる。 アウトドアブームにもっと乗ってほしい。</p>	

《参考》 過年度の評価点

令和元年度	年度	年度	年度	平均
4点				4点